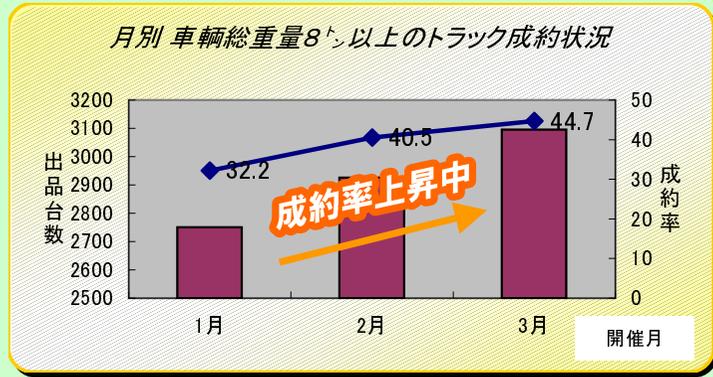
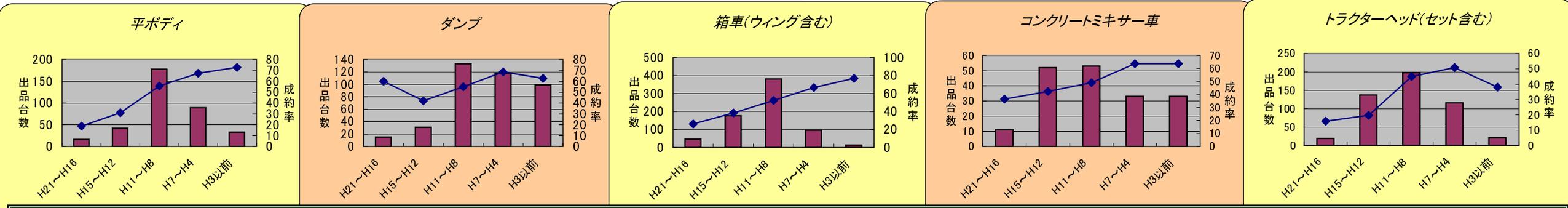
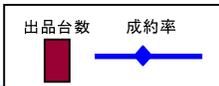


会員の皆様こんにちは。小山バントラ月刊誌『OYAMA まるかじり新聞 第3号』です。
 3月が終了し、当小山会場の出品台数・成約台数は順調に回復傾向にあり、成約率に関しては前年実績を上回る結果となりました。まずはこの新聞にて、当会場をご利用いただいている会員の皆様のお陰であると深く感謝申し上げます。
 今回は、前号に引き続き『大型車コーナー』を特集いたします。その中でも、小山バントラの魅力の一つである車輛総重量8トン以上の大型トラックで、特に出品比率の高い『平ボディ』、『ダンプ』、『箱車』、『ミキサー』、『トラクター』の5車種をピックアップしていきます。
 是非、ご利用して頂き、今後のご商売のお役に立てれば幸いです。

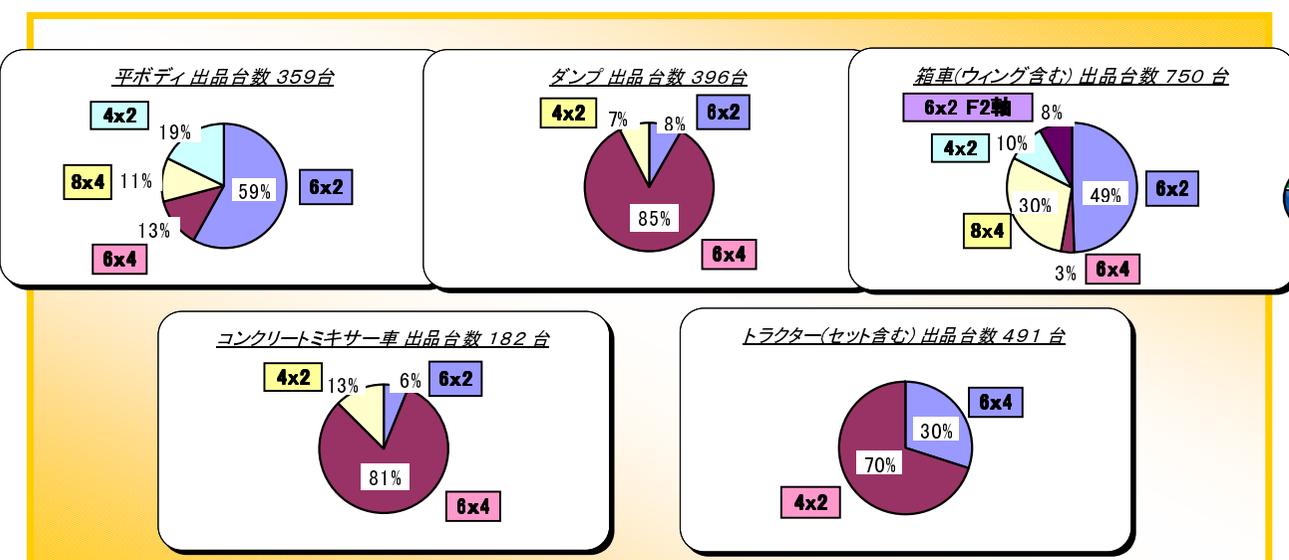


大型車【車輛総重量8トン以上】主要上物別実績状況 【3月全4開催】



●3月4開催車輛総重量8トン以上のトラックの総出品台数は『3095台』成約率は『44.7%』でした。大型トラックは、メーカー、上物メーカー、駆動、ホイールベース、E/G等で値段が大きく違ってきますが、『ダンプ』、『ミキサー車』に関しては、各メーカー共に成約率は50%を超えています。特にU、Wの『ダンプ』、『ミキサー』、『トラクター』の2デフ車輛の引き合いは強く、平均単価も2月と比較すると約15万円以上上がっております。
 一方『平ボディ』、『箱車』については、6x2 R2軸が各メーカー共に成約50%前後を維持。その中でもイソズ『CXM・CYM』、UD『CD520』等は好調な売れ行き!! フソウ『FU5~、FU4~』の増トン車についても特に強い応礼と引き合いを見せ、平均単価を上げております。また、他メーカーと比較すると多少動きが弱いヒノの『FR』ですが、成約は60%という高い数字を出しています。
 最後に8x4 4軸低床に関しては各メーカー共に我慢の時期が続いていますが、KL-以降の国内需要の4軸低床は各メーカー共に年明けから、ある程度の応礼があるのでKC-、U-の復活に期待したい。

車輛総重量8トン以上トラック 駆動別・上物別出品台数比率/成約状況 【3月全4開催】



車輛総重量8トン以上トラック 上物/駆動別成約状況

駆動/軸	6x2 R2軸	6x4	8x4	4x2	6x2 F2軸
上物	成約率	成約率	成約率	成約率	成約率
平ボディ	55.3	50	35	67.2	
ダンプ	42.4	63.8		24.1	
箱車(ウイング含む)	52.3	50	47.5	52.8	58.3
ミキサー	63.6	50.7		60.9	
トラクター(セット含む)		43.8		37.5	

●『平ボディ』、『箱車』は6x2 R2軸と4トン増トン車の4x2が高い成約!!
 『ダンプ』の2デフ車は高い成約率をキープしています。
 『トラクター』に関しては、セット出品も含んでいるため、セット需要が弱く、高い成約はえられなかったが、2デフヘッドの成約は約50%と好調!!
 全体的に各メーカー3月の大型車の売り買いは活発であったが、1デフトラクターセットと4軸低床の動きがもう少し活発になれば更に大型コーナーに勢いがついてくるのではないのでしょうか。

PICK UPトラック



★3月全4開催で大型ミキサー車が高成約であったが、4月に入っても好調を維持!!
 ミキサー以外『ダンプ』、『トラクターヘッド』等の2デフの値段等も上昇中の為、今後も目が離せません。
 4月も注目していきたいトラック達です。